

LANEX®—AP0301

爆発性ガス雰囲気のある危険場所(防爆エリア)で、安全・安心に使用可能な無線LANアクセスポイント

防爆型無線LANシステムは、ガス、石油化学、化学薬品工場等に存在する防爆エリアへの適用／設置が可能な無線LANシステムです。防爆型のPDAやIPカメラと組み合わせれば、設備運転データや映像の監視も行う事ができます。さらに、防爆型IP携帯電話との組み合わせにより防爆エリアにて通話が可能となります。指向性／無指向性のアクセスポイントを使い分ける事により、様々なエリア形状に対して最適(ミニマムコスト)なシステムの構築が可能です。



適用が想定される各種プラントエリア



無線カメラ

映像監視



ウェアラブルカメラ

技能継承



モバイル運転監視

操業支援



モバイル帳票

保守管理

<主な特徴>

各種等級	防爆等級: Exd II B+H2T4 Gb 保護等級: IP65相当
無線LAN	IEEE802.11n/g/b に準拠 (2.4GHz帯) IEEE802.11ac/a に準拠 (5GHz帯) ※5GHz帯はオプション
セキュリティ	各種セキュリティ機能(WPA2-PSK、WPA-PSK、MACフィルタリング等)をサポート
主な特徴	最大450Mbps(IEEE802.11n理論値)での通信と最大2,340Mbps(IEEE802.11ac理論値)での通信が可能 移動端末がスムーズにローミングを行うために必要な機能(バーチャルセル)に対応 1つの無線LANチャンネルにて、AP間の電波干渉なく、広域無線LANエリアの構築可能 PoE(Power over Ethernet)給電方式を採用 水素防爆エリアにも対応可能
通信距離 ^{注1}	屋外: 約~100m

注1: 無線通信距離は、アクセスポイントが設置される環境により異なります。(詳細は現地調査実施要)

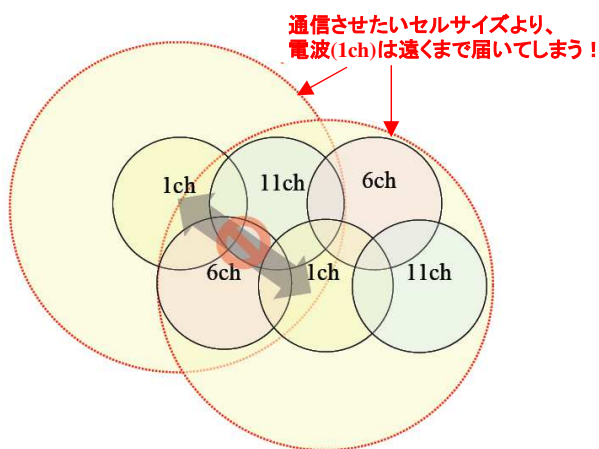
種別	項目	仕様 ^{注1}
一般	本体部外形寸法	フード無 : 332mm(W)×332mm(H)×220mm(D) ※突起部、取付金具含まず フード有 : 409mm(W)×395mm(H)×250mm(D) ※突起部、取付金具含まず
	重量	本体:約23kg(フード有 約29kg) / アンテナ部:約13kg(アンテナ×3、アンテナ取付台含む).
	防爆等級/検定番号	Exd II B+H2T4 Gb (1/2種危険場所)/検定番号:TC22457
	保護等級	IP65相当
	使用温度(湿度範囲)	-10℃~40℃ (湿度:~85%RH結露無きこと)
無線LAN部	サポート規格	IEEE802.11ac/n/a/g/b
	伝送方式	802.11ac/n/a/g : 直交周波数分割多重方式(OFDM) 802.11b : 直接スペクトラム拡散方式(DSSS)
	使用周波数範囲	2.4GHz帯(全13ch) 5GHz帯(W52/53/56)デュアル無線 ※5GHz帯はオプション
	通信速度(理論値)	2.4GHz帯 : 802.11n接続時 最大450Mbps 5GHz帯 : 802.11ac接続時 最大2,340Mbps
	セキュリティ	WPA/WPA2、WPA/WPA2-PSK(AES/TKIP)、IEEE802.1x認証、WEP(64/128bit) MACアドレスフィルタリング、SSID ANY拒否
	送信出力	10mW/MHz以下
	通信距離 ^{注2}	屋外:約~100m
アンテナ部	アンテナタイプ	外付けアンテナタイプ(無指向性) 3×3MIMO(3ストリーム対応)
	公称利得	2.4GHz:0.2dBi 5GHz:0.3dBi
有線LAN部	サポート規格	IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3ab(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)準拠 IEEE802.3at準拠(PoE+仕様)
	インターフェース	RJ-45型×1

注1: 予告なく仕様変更される可能性があります。 注2: 無線通信距離は、APが設置される環境により異なります。

『LANEX-AP0301』無線LANアクセスポイントは、米国フォーティネット社の最新技術(Air Traffic Control 技術)を採用する事により、高品質で信頼性の高い無線LAN環境の構築が可能です。

一般の無線LAN

干渉防止の目的から、1・6・11chで使用する事が多い。
同一チャンネルの干渉を防ぐため、交互に配置するも...

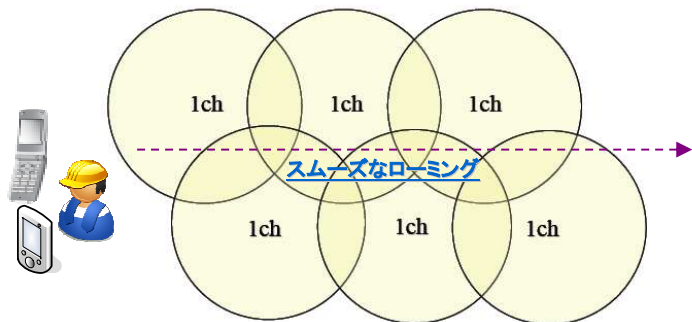


- ◇ AP配置計画時、同一チャンネルによる電波干渉発生に注意が必要。
- ◇ 電波干渉を防ぐ為に送信出力を弱めるとAP追加設置の可能性あり。
- ◇ ハンドオーバーは端末主導にて実施される。その際、通信断・音声途切れなどが発生する可能性あり。

LANEX-AP0301

シングルチャネル/バーチャルセル方式

- ① 全てのAPと端末の接続状況を把握し、AP間、AP~端末間の電波送信タイミングを時分割制御する事で、同一チャンネル干渉を全く発生させずに無線LAN環境を構築する事ができる。
- ② 複数のAPを仮想的に1台(バーチャルセル)とみなす事が可能。



- ◇ APの送信出力をフルパワーにする事でAP設置台数を抑える事が可能! AP追加時もチャンネル再設計の必要なし。
- ◇ 1チャンネルのみで無線LANシステムを構築する事により、各種システム(無線計装など)との共存が可能!
- ◇ バーチャルセルにより、端末主導でのハンドオーバー発生なし。(通信断、音声途切れなどの発生を少なく抑える事ができます。)

<総販売元> JFE エンジニアリング 株式会社

株式会社 宮木電機製作所



本社 〒621-0013 京都府亀岡市大井町並河3丁目16番18号
 東部営業所 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルス・ベイサイド502
 名古屋営業所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目9番79号 大須TNビル6F-A
 西部営業所 〒604-8431 京都市中京区西ノ京原町99番地

TEL:0771-24-7401 FAX:0771-24-0991
 TEL:045-507-2270 FAX:045-507-2272
 TEL:052-241-8525 FAX:052-241-8527
 TEL:075-841-5321 FAX:075-841-5533

ホームページからのお問い合わせは <http://www.miyaki-elec.co.jp/>

●このカタログの内容は製品改良のため予告なしに変更することがあります。